

水平泊 まるうい

さられている 大きないとうかか

ら終

新

いるとれれるのある くかきどう かなぎ

北野安四 かかかかかれず んするべか 男かめてが

ないないからか

むまめなれ

人女分の から

らいっかずくる大井川

もあつ

れる 対の教見け あるかさく

袖でさ

る芸婦代 さかせ

かか多

ちりつかれて

さかどかちへる ちいもうかしま

えつやこのかくって かけんと -ACOR



記ねつのきるの るとでのさ さいのひょうう

からいとかっと 5कर न 動六

あるかろ

うざのかれる れるいっと

行のよでもかのと 植的

ぶねっいきるの いかからいかん

とういのでって

うどりかけてのわり そかるとこれな

のみけられま

れてきっさの おけんのう めとせいし おりくのろ



るののから

のなうつめるう 松豆た

七的九年る行 大车 ~ 人民司出向日奉十二八 火中男女名学を持てくりませ ゆのぞろいかは大方から

